

躍進

薩摩川内市  
体育協会

Vol. 04

市体育協会の加盟団体から、今回は薩摩川内市弓道連盟を紹介します。

【沿革】

昭和22年10月に、川内弓友会として発足しました。昭和24年、川内市体育協会が設立されたことに伴い、川内市弓道連盟として加盟しました。さらに、平成17年、市町村合併による薩摩川内市体育協会設立に伴い、新たに薩摩川内市弓道連盟として活動を開始しました。



【県民体育大会弓道競技】  
(サンアリーナせんだい:平成25年9月)

【活動状況】

県選手権や県内支部対抗戦など、各地で実施される大会へ積極的に参加しています。

また、毎年県内各地から弓道愛好家を集めて、定期的に大会を開催しています。

▼7月川内親善遠征大会

▼10月川内弓道大会

▼毎月川内薩支部月例会

このうち川内弓道大会は、昭和25年に十五夜弓道大会と称し、太平橋下の川内川河川敷で初めて行われました。以来、今年度で65回目を迎える伝統的な行事となっています。平成20年10月に開催された全国健康福祉祭(ねりんピック鹿兒島2008)では、本市において弓道交流大会が盛大に開催され、全国各地から多くの監督・選手を迎え入れ、交流を深めました。

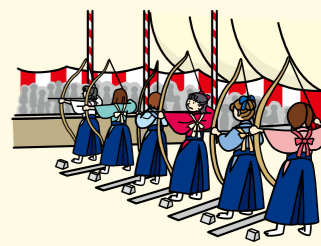


【初心者対象弓道教室練習風景】

【弓道教室】

毎年6月に一般を対象とした弓道教室を開催し、弓道人口の拡大に努めています。

また、弓道を通じて青少年の健全育成の一助になればと、中学生・高校生への指導にも力を注いでいます。



【新年射会記念写真】(平成27年1月)



【新年射会風景】

弓道をはじめませんか?

弓道は、他のスポーツとは多少異なり、自分自身と向き合う武道・スポーツともいえます。

静止不動的に放たれる矢は、自分の心を映す鏡であり、精神面の修練にも役立ちます。また、体力などの状況に応じて1人で取り組めるのも魅力の1つです。

さらに、趣味と健康増進を兼ね、仲間と引く弓は楽しみを倍増させ、自分の人生を豊かにしてくれること必至です。皆さん、私たちと共に奥深い弓道を楽しんでみませんか。

【問合せ先】

▼会長 大六野貞雄

▼(23) 6274

▼教室担当 山口正明

▼(20) 2637

▼理事長 今村克典

▼(30) 2364



また、市民が心身ともに豊かに暮らせるように、歴史・文化を継承・啓発し、スポーツを通じた交流や健康づくりなど、魅力ある生涯学習の推進に努めます。

第2次薩摩川内市総合計画について  
基本理念と将来都市像の実現に向けた政策の基本方針

【問合せ先】本庁企画政策課政策グループ  
☎(23) 5111 (内線4831)

新たに策定した「第2次薩摩川内市総合計画」について、基本理念と将来都市像の実現に向けた、6つの政策の基本方針を定めました。

【健康・福祉】  
① 健やかに生き生きと暮らせるまちづくり

生活習慣病の予防など、市民一人ひとりの健康に対する意識を高め、日々健康な生活を送れるように健康づくりを推進し、地域の医療ニーズに応える体制を充実させます。

高齢者や障害者など、誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らせるような地域ケア体制を支えるネットワークを構築します。

また、子どもを産みやすく、育てやすい環境整備などに取組む、市民の健康・福祉の増進に努めます。

【生活環境】  
② 快適で魅力的な住み続けたいまちづくり

安全・安心な暮らしを実現するため、防火・防災・防犯・交通安全の意識向上や、安全対策を含む防災関連情報の周知、地域ぐるみの活動の推進、関係施設の整備、災害発生時に即応できる体制の強化などに努めます。

自然環境の保全や資源のリースイクル、地球温暖化防止対策など、環境・エネルギー対策の充実に取り組みます。

また、身近な公園や緑地、河川や海岸など、環境に配慮した整備を行います。

さらに、安全で安心な水道水の安定供給と災害に強い水道を構築します。

また、水洗化率の向上による快適な生活環境の整備や河川の水質改善などに努めます。

【産業振興】  
③ 地域の豊かな個性で活力を生み出すまちづくり

豊かな自然と地域が培った地場産業の振興に加えて、農林漁業の六次産業化、食品次世代エネルギー、観光など地域の持続的成長に資する分野の発展を図り、雇用創出と経済活動の活性化に努めます。

また、九州新幹線や南九州西回り自動車道、川内港の物流機能を活かし、シテイセールスの展開による人・モノ・情報など、相互の連携と交流を活性化させ、様々な分野での活力創出に努めます。

【社会基盤】  
④ 安全性と利便性の質を高めるまちづくり

自然災害から市民の生命や財産を守り、被害を軽減するため、地震・津波対策や水害・土砂災害対策など、安全で災害に強い社会基盤の整備に取

り組みます。

広域化する地域間の連携と交流の基礎となる広域交通ネットワークの構築や、生活を支える地域公共交通の確保に努めます。

また、快適で利便性の高い中心市街地を形成します。

さらに、重要港湾である川内港を中心とした港湾施設の機能充実を図るとともに、スマートグリッドなどの電力情報網やICTを活用したサービスなど、市民生活の利便性向上のため、次世代インフラの導入に努めます。

【教育文化】  
⑤ 次世代を担う人と文化を育むまちづくり

次世代を担う子どもたちが未来をたくましく生きるため、学校・家庭・地域が連携し、確かな学力や豊かな心、健康な体を備えた生きる力やふるさとを愛する心を育みます。

計画書は、市ホームページ・各地区コミュニティセンター・図書館などでご覧いただけます。  
http://www.city.satsumaseandai.jp